

日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会 PRA 品質確保分科会  
第 30 回会合議事録

日時：2019 年 8 月 2 日（月）13:30～17:00

場所：関西電力東京支社（日比谷パークフロント 7F）会議室 3

出席者（敬称略）

委員：桐本主査(電中研)，藤崎幹事(関電)，倉本(NEL)，杉原（原電），小森（東芝），  
木村(日立 GE；曾根田委員代理)，田中(MHI)，村田(JANSI)，吉田（JAEA）

9 名出席

常時参加者：山本(原電エンジ)

1 名出席

欠席委員：糸井（東大），日高（テプシス），玉木（中部電），二木候補（東電）

配付資料：

RK4SC30-1：第 29 回 PRA 品質確保分科会議事録案

RK4SC30-2：人事について

RK4SC30-3-1：IRIDM 標準原案に対する公衆審査意見への対応（案）

RK4SC30-3-2：IRIDM 標準原案に対する公衆審査での意見

RK4SC30-4-1：JCNRM 共通用語定義の意見交換状況について

RK4SC30-4-2：共通用語定義 JCNRM コメント対応表

RK4SC30-4-3：共通用語定義 英語版（3/6 制定版）

RK4SC30-4-4：JIWG からの依頼文

RK4SC30-5-1：品質確保標準 意見募集コメント集約表

RK4SC30-5-2：品質確保標準 性能規定記載整理

RK4SC30-5-3：品質確保標準 標準文案（8/2 版）

RK4SC30-6：分科会スケジュール案

RK4SC30-参考 1：分科会名簿

RK4SC30-参考 2：JCNRM/JIWG の活用に対する、学会の取り組み（あり方）について

議事：

1. 定足数の確認

委員 13 名中 9 名が出席しており、本会議が議決に必要な定足数を満足していることが確認された。

2. 前回議事録の確認（RK4SC30-1）

RK4SC30-1 に基づき、第 29 回分科会の内容確認が行われた。委員からコメント等がなく、正式版として了承された。

3. 人事について（RK4SC30-2）

東京電力の喜多委員（退任前に NRRC の所属変更）の退任が報告され、東京電力の二木委員の選任が承認された。

4. IRIDM 標準の PRA 関係附属書 公衆審査の対応について（RK4SC30-3-1,2）

RK4SC30-3 に基づき、倉本委員より、IRIDM 標準の PRA 関係附属書 公衆審査のコメント対応状況について報告された。主な報告事項は下記のとおり。

- 原子力規制委員会が H25 年に合意した放出量に係る判断基準についての記載がないとのコメントを受け、H25 年の内容を反映する方向で解説 15 及び 17 の記載を見直すこととした。

- 上記の H25 年の会合での合意事項の範囲が明確ではないため、事実関係を確認し記載して解説での記載を適正化することとした。
- 標準案中の「セシウム 137」の記載を「Cs<sup>137</sup>」に統一することとした。
- 日本における貨幣価値換算係数の評価例を紹介することで、国内における費用便益評価の検討を促すべきとのコメントを受け、近年の国内評価例を附属書に追記した。

#### 5. JCNRM 共通用語定義の意見交換状況について (RK4SC30-4-1,2,3)

RK4SC30-4 に基づき、藤崎幹事から共通用語定義について JCNRM との意見交換の状況について報告された。JCNRM 委員から、PRA 共通用語の定義について、36 のコメントが寄せられた。8 月中を目途に分科会メンバーで分担してコメントを分析 (8/26 期限) したうえで、JCNRM との意見交換を行い、標準の内容に影響する重要なコメントについては次回改定時期に反映する方針となった。また、今回の状況は JIWG で報告するため、8/21 のリスク専門部会で付議することとなった。

#### 6. 品質確保標準の改定案について (RK4SC30-5-1, 2)

RK4SC29-5-1, 2 に基づき、藤崎幹事より、品質確保標準の改定案について報告があり、内容を議論した。

- メンテナンスとアップグレードの違いに応じた取り扱いについても記載してはとの意見があり、記載内容を検討することとなった。
- 本文の構成と PRA 作業全体のフローの整合性が理解できるように、PRA 作業フローと品質確保基準の位置付けをしめした図(RK4SC27-3-1 で示した図)を解説に添付することとした。

#### 7. 次回分科会日程

次回分科会の開催は 11/11 (月) とし、作業準備会を 8/29 (木) に開催することとした。

以 上